

学校訪問シリーズ 94

大分市立鶴崎中学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「確かな学力と たくましさを身につけた 心豊かな生徒の育成」を達成するため、「チーム鶴崎～さらなる前進～ 深化 創造 連携」のスローガンのもと、5つのプロジェクトチームがそれぞれ目標を設定し実践を行っています。さらに、生徒会が中心となって、ノーチャイム、ワンストップ挨拶、おもいやりネット宣言等に取り組み、「自分達の学校を自分達で良くしよう」という意識が高まっています。

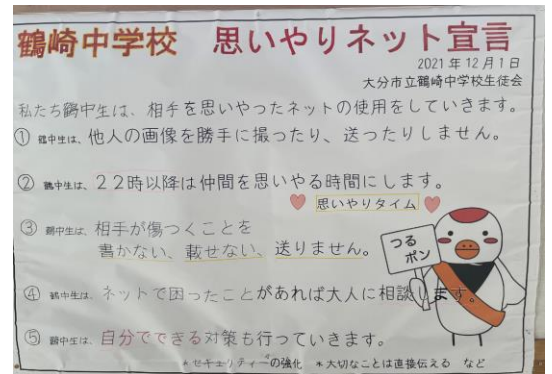
また、特別支援教育においては、「個別の指導計画 鶴崎スタンダード」に基づき、年度末から新年度へ向けて計画的、組織的に作成しています。そのため、担任が替わっても支援の方向性が確認でき、4月の最初の面談において、教職員、保護者、関係機関との合意形成がスムーズに行われています。素晴らしい好事例です。

授業から学ぶ

全教科等でUDの視点で授業を推進すると共に、各教科部会においては学年毎に、①実態分析 ②生徒の課題 ③課題解決のための取組を明示し、それぞれ具体的な実践を行っています。

参観した授業では、男女関係なく学び合いが行われており、日常的に効果的な小集団活動が行われていると感じました。

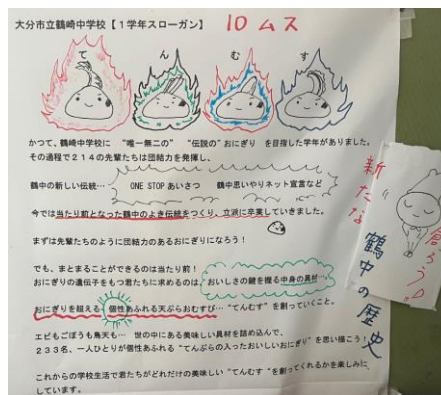
なお、教師の立ち位置については俯瞰的に見ることで、学び合いの様子を形成的に評価し、より深い学びに繋がるよう指名を意図的に行ってみてはいかがでしょうか



NO.517 2022年11月 大分市立鶴崎中学校

思いやり

終了時の礼は、先生に対してだけでなく、一緒に学んだ友達へ感謝の気持ちを伝えるため。だから、心を込めて礼をする。



NO.517 2022年11月 大分市立鶴崎中学校

深化

教室に拍手や笑顔があふれ、助け合えるような空気があるから、自分の素直な気持ちが言える。そこから、深い学びが始まる。



NO.518 2022年11月 大分市立鶴崎中学校

創造

お互い共感的に聴き合い、共通点や相違点を整理すると、新たな考えが生まれる。共に成長する。



NO.517 2022年11月 大分市立鶴崎中学校

連携

みんな個性があり、良さがある。それを認め合い、支え合い、補い合うと、強い組織になる。